

中央大学 会計人会 会報

発行所 中央大学会計人会

〒116-0003 東京都荒川区南千住5-25-14

税理士法人 荻野会計事務所内

<http://chudai-kaikeijin.jp>

発行人 会長 荻野 弘康



IT化時代の士業を考える

会長 荻野 弘康

6月17日に年次の総会を行い、無事終了致しました。

総会の内容につきましては、石亀副会長より本紙にご報告させていただきましたのでご一読願います。

総会、懇親会には、ご多忙の中、酒井学長、総長にご臨席賜り、中央大学の近況、未来の展望等懇切にお話しいただきました。

学長に商学部、経済学部等からの就任

は井上学長以来の四十数年ぶりで、酒井学長、総長の豊富な知識と経験に大いに期待しているところであります。

総会后、平川顧問による〔平成28年度の税制改正の留意点〕についてご講演いただき好評でありました。

毎々ですが、懇親会には多数の友好会計入会の幹部の皆様にも多数ご参加いただき、大淵顧問のご挨拶のあと、平川顧問による乾杯の後、楽しくご懇談させていただきました。

近年、IT〔人工知能〕の進化が日々伝えられ、士業のロボット化や衰退が案

じられていますが、IT化は、悪用する者、犯罪者にとっても大いに有効、便利であり、これらに関連した犯罪も後を絶たないのである。

パソコンやソフトを製造販売する東芝の五千億円を超える粉飾決算、ホルクスワーゲン、三菱自動車、スズキ等の違法計量事件、パナマ文書に端を発するタックスヘイブン〔各国の税法の抜け穴利用〕や偽造キャッシュカードによるコンビニからの現金の引き出し等々ソフトの進化に伴う犯罪、違法行為は後を絶たない。

士業は、パソコンソフトの下にいないのではない、パソコンソフトは士業の下にいない〔士業のサポーター〕のである。

時代は変わり、士業の周辺機器の進化は、士業にとって大いにプラスであり、関連業務「財務、税務、監査、経営助

言」に有効活用しましょう。

財務、税務、監査業務の原点に戻って、IT化時代を業務の進化として取り入れていかなければならないのである。

ソロバンパチパチと検算し、仕訳伝票から転記をして、それらの正否を確認して合判を押してきた、それらの確認作業はいくら時代が変わろうと、IT化が進んでも士業やスタッフの重要な職責であることは些かも変わらないのである。

多くの投資家々債権者等に多大の損害を与えた東芝の五千億円を超える粉飾決算は、誰がどのように粉飾し、誰がどのように監査したのかが問われているのである。

士業の職責使命は、IT化を業務の効率化、改善に取り入れつつ、ますます重要であると考えます。

平成27年度 定時総会報告

副会長 石亀 邦俊

去る平成28年6月17日（金）中央大学駿河台記念館にて平成27年度の定時総会が開催されました。定時総会の議案の審議内容は下記に記載のとおりであります。今年度は定時総会の前に理事会が開催され、そのあとに、平成27年度 定時総会が開催され、そのあと、平川忠雄顧問による「平成28年度 税制改正の留意点」と題してのご講演をいただきました。

定時総会後の懇親会には、ご来賓として、中央大学総長・学長の酒井正三郎様をはじめ大学関係者、友好大学会計人会

からは多くの役員にご参加を賜り、盛大に行われました。

会員各位の温かいご支援に感謝を申し上げます。

平成27年度事業報告

平成27年1月1日から平成27年12月31日まで

1 会議等

(1) 平成26年度 定時総会

平成27年6月11日

中央大学駿河台記念館

第一部 講演会

テーマ：『資産を巡る複数税目の実務』

講師：当会顧問・税理士 平川忠雄先生

第二部 定時総会 事業報告、収支報告、事業計 画、収支予算	平成27年7月2日	日本大学税理士桜 門会計人総会
第三部 懇親会	平成27年7月10日	神奈川大会計人 宮陵会総会
(2) 正副会長会・理事会 中央大学駿河台記念館	平成27年7月11日	税理士稲門会総会
平成27年4月17日	平成27年7月16日	税理士三田会総会
平成27年6月11日	平成27年7月17日	明治大学公認会計 士会総会
平成27年9月16日	平成27年7月18日	日本大学税理士桜 門会総会
平成27年11月26日	平成27年7月27日	専修大会計人会 総会
2 広報活動	平成27年9月4日	法政会計人会総会
①中央大会計人会会報第18号発行 (別冊含む) (平成27年5月20日)	平成27年10月31日	全国大会計人会 サミット(西南学 院大学)
②中央大会計人会会報第19号発行 (別冊含む) (平成27年10月20日)	平成27年12月8日	駿台会計人倶楽部 60周年記念式典
3 組織活動	平成27年12月17日	中央大学公認会計 士試験合格者祝賀 会
六大会計人会ゴルフコンペ 平成27年10月8日	平成27年12月19日	法政会計人会忘年 会
東松山カントリークラブ	②観桜会(上野精養軒)	
中央大会計人会は総合第3位	平成27年4月1日	駿台会計人会倶楽 部と共催
4 大学・大学学員会関係		
①大学事業の支援		
平成27年10月25日 第24回中央大学 ホームカミング デーに参加		
②大学評議会出席		
平成27年5月15日 全国支部長会議		
平成27年5月16日 定時評議会		
平成27年5月22日 法曹会常任理事会		
平成27年7月25日 商議員会		
5 他団体関係		
①友好会計人会総会等出席		
平成27年6月19日 公認会計士白門会 総会		
平成27年7月2日 青学会計人クラブ 総会		



平成27年度 収支報告書並びに財産目録
平成27年度 収支報告書（別紙を掲載）
財産目録（別紙を掲載）

平成27年度 収支報告
平成27年1月1日から平成27年12月31日まで

中央大学会計人会 【単位：円】

平成28年度 事業計画（案）

平成28年1月1日から平成28年12月31日まで

1 会議等

定時総会開催（年1回）

中央大学駿河台記念館

理事会開催（年3～4回） 同

正副会長会（年3～4回） 同

常任理事会（年3～4回） 同

2 会員活動

①日本税理士会連合会機関紙 「税理士界」広告

②東京税理士会機関紙 「東京税理士界」広告

③中央大学学会 「学員時報」広告

④CPA会員名簿による直接入会のすすめ

⑤新会員名簿整理及び管理

⑥中央大学会計人会 会報発行（年2回予定）

⑦中大OB・財務省・国税庁OBによる研修会開催

⑧ホームページ運用・管理

3 大学・大学学員会

①幹事会その他の出席

②評議会出席

③大学学員会他支部出席

④第25回ホームカミングデー（多摩キャンパス）に参加

4 他団体関係

①他大学会計人会出席

②全国大学会計人会サミット出席（富士大学）

収入の部			
科目	平成27年度予算額	平成27年度決算額	差額
通常会費収入	2,600,000	2,010,000	590,000
支援金収入		630,000	-630,000
親睦会収入	200,000	260,000	-60,000
雑収入	500,000	487,000	13,000
利息収入	30,000	2,967	27,033
当年度収入合計	3,330,000	3,389,967	-59,967
前期繰越収支差額	17,924,408	17,924,408	
収入合計	21,254,408	21,314,375	-59,967

支出の部			
科目	平成27年度予算額	平成27年度決算額	差額
母校支援事業		507,800	-507,800
会場費	650,000	668,528	-18,528
通信費	100,000	45,102	54,898
事務局費	120,000	0	120,000
消耗品費	50,000	18,900	31,100
会報費	1,100,000	1,029,613	70,387
渉外費 [サミット費]	600,000	513,720 [205,520]	86,280
研修会費	200,000	291,788	-91,788
広告費	100,000	30,000	70,000
ホームページ費	100,000	189,993	-89,993
雑費	100,000	31,890	68,110
当年度支出合計	3,120,000	3,327,334	-207,334
次期繰越収支差額	18,134,408	17,987,041	147,367
合計	21,254,408	21,314,375	-59,967

財産目録

平成27年12月31日現在

中央大学会計人会

【単位：円】

科目(内訳)	金額
I 資産の部	0
1 現金	
2 銀行預金等	
①三井住友銀行 上野支店 (普) No.7579585	2,401,097
②みずほ銀行 上野支店 (普) No.4512448	11,066,983
③三菱東京UFJ 中野支店 (普) No.4551431	74,306
④郵貯銀行 No.10020-72193211	4,374,655
⑤郵便振替預金 No.150-6-28490	0
3 未収入金	70,000
資産の部合計	17,987,041
II 負債の部 未払金	0
差引正味財産有高	17,987,041

会計監査報告書

平成27年度決算につき、平成27年度の事業報告並びに収支報告書、財産目録及び関係帳簿類等を監査したところ、適法に処理されておりますのでご報告申し上げます。

平成28年4月18日

監事 佐藤 博司 (印)

監事 小森 輝於 (印)

平成28年度 収支予算書 (案)

平成28年1月1日から平成28年12月31日まで

中央大学会計人会

【単位：円】

収入の部			
科目	平成28年度予算額	平成27年度決算額	差額
通常会費収入	2,600,000	2,600,000	0
支援金収入	630,000		630,000
親睦会収入	200,000	200,000	0
雑収入	500,000	500,000	0
利息収入	30,000	30,000	
当年度収入合計	3,960,000	3,330,000	630,000
前期繰越収支差額	17,987,041	17,924,408	
収入合計	21,947,041	21,254,408	

支出の部			
科目	平成28年度予算額	平成27年度決算額	差額
母校支援事業	630,000		630,000
会場費	650,000	650,000	0
通信費	100,000	100,000	0
事務局費	120,000	120,000	0
消耗品費	50,000	5,000	0
会報費	1,100,000	1,100,000	0
渉外費	600,000	600,000	0
研修会費	200,000	200,000	0
広告費	100,000	100,000	0
ホームページ費	100,000	100,000	0
雑費	100,000	100,000	0
当年度支出合計	3,750,000	3,120,000	630,000
次期繰越収支差額	18,197,041	18,134,408	
合計	21,947,041	21,254,408	



叙勲に際しての謝意

坂 田 純 一

この度の平成28年春の叙勲において、税理士功勞により「旭日小綬章」受章の榮に浴し、おかげさまで5月13日皇居に参内し拝謁の榮を賜り誠に感動の極みでございます。

思えば本当に長い間、浅学非才の私ごときが税理士業界では様々なお役目をさせて頂きました。そして、その間、中大会計人会の荻野弘康会長始め母校の諸先輩方、多くの税理士会役員及び会員皆様方の心温かきご支援ご訓導を頂きましたことに対し厚く御礼申し上げます。また、中大会計人会からは総会の席上で多大な祝意を賜りましたことに対しましても、本会報にてでは失礼と存じますが御礼申し上げます。

さて、本来ご支援を賜ってまいりましたお一人お一人方に「御礼の会」等のお席を設けてこれまでのご芳情に対する感謝の言葉をお伝えすべきところでございますが、私ごときに税理士功勞による叙勲を賜るといふ意をじっくりと考えさせて頂きました結果、「学び舎～税理士法ゼミ～」という「自主ゼミ」方式にこの感謝の気持ちを置き換えさせて頂きました。「自主ゼミ」開講に当たっての企画としては、本年9月より東京と大阪で1年間毎月、税理士法の逐条ごとにテーマを設定しており、税理士業界を背負う次世代の方々にお呼びかけしております。

身勝手な企画とした「自主ゼミ」では、私が税理士業界においてこれまで学び体験してきた税理士制度等に関する数々の歴史などを次世代の方々にお伝えしたいと思っております。ご参加いただく次世代の方々には税理士制度の素晴らしさを、次なる世代に伝えていく役割を担っていただければと幸いである、とも願っております。おかげさまで現在までに同会場ともに30名近い方々からのご参加の申し込みが届いております。申告納税制度と形影相伴う関係にある税理士制度を心から愛し、そして自らの制度を前進させたい次世代の方々が多くおられることに感激しており、少なくとも来年の8月までは元気に過ごさなければならぬとお役目をさらに賜ったものと受け止めております。

「桜は散るがはじまり」ともいうようですが、今回の榮えある受賞の重さを「なかごころ」に留め、これからの人生において国家社会にいくばくかのご奉仕ができればと、皆様方に衷心より固くお誓い申し上げます。

結びに、深く、深く「なかごころ」より、すべてのご関係者皆様方のお力添えを賜ってまいりましたことに対しまして深甚なる謝意を申し上げますとともに、皆様方のなお一層のご多幸をお祈りいたしております。